

平成23年4月1日、水道局と下水道部門が統合し、ひとつになりました。そこで、稲垣上下水道事業管理者に、今後の上下水道局について聞きました。

お客さまの目線に立った

「高松市上下水道局」を目指します。

高松市の上下水道は、いつ整備されたのですか？

高松市の水道事業は、大正10年に給水を始め、高松市に安心・安全な水をお届けするようになって、今年で90年になります。

また、市民の快適な生活を守るために整備した下水道事業は、昭和40年、福岡下水処理場での汚水処理を始めたことにより、本格稼働しました。

どうして、水道局と下水道部門を統合したのですか？

どちらの事業も、お客さまの日常生活にはもちろん、社会経済活動に欠かすことのできないライフラインを支え、生活環境の向上を担っています。

そして、上下水道事業は、水源から川や海へと循環する「水循環」の大部分にかかわっています。これまで、個別にそれぞれの役割を果たしてきましたが、水需要の減少による厳しい経営環境の中、直面する課題も共通していることから施設の維持管理や更新を着実に進めていくためにも統合しました。

これからどんな上下水道局を目指していきますか？

上下水道局発足を機に、上下水道事業を一体的にとらえることができました。その「組織統合」というメリットを生かし、水とのかかわり方をもっと総合的で包括的なものとしてとらえ、自己処理水源の確保など持続可能な水環境の形成に貢献していきたいと考えています。

さらに、機能的な組織づくりにより、時代の変化に柔軟に対応できる上下水道局へと進化させ、常に、お客さまの目線に立ち、お客さまに満足していただける上下水道局を目指します。

今後、上下水道事業の諸課題にどう取り組みますか？

まずは、公営企業としてお客さまの信頼に応えられる健全な経営を目指します。そのために、災害に強いライフラインを確立します。今世紀前半に発生が予想されている東南海・南海地震に備え、上下水道施設の耐震化や早期復旧体制の確立などを進め、様々な危機・災害に対する備えが万全となるよう、危機管理体制の構築に取り組みます。

また、上下水道事業は、事業を続けていく限り、施設の維持管理や更新が必要となります。そのため、経営基盤の強化にも取り組み、将来の世代に負担と不安を残さないよう、投資経費の平準化や経営の効率化などに努めます。

そして、下水道事業に企業会計を導入した効果を発揮できるよう、経営の透明化を図っていきます。その上で、長期的な視点に立った効果的な事業運営に取り組めます。



素顔の管理者は...
読書家
土いじりが好き
誠実
話し好き
写真好き

profile
高松市上下水道事業管理者

稲垣 基通氏
いな がき もと みち

昭和22年12月9日生
昭和41年入庁。高速交通対策課長補佐・土地改良課長・土木部次長・都市整備部長などを歴任
平成20年、水道事業管理者に就任。平成23年上下水道事業管理者の要職に就く。
座右の銘：敬天愛人
「天を敬い、人を愛する」
西郷隆盛の言葉
趣味：山岳

